

厚生労働科学研究費補助金（研究事業）

分担研究報告書

細胞検査のための染色体解析技術の確立

分担研究者: 郷 正博

（公財）先端医療振興財団 細胞療法開発事業部門 細胞製造グループ

研究要旨

万一の有害事例発生時に細胞検証する際に、正しい細胞評価が行わなければ、原因探索や再発防止を考察するに十分な科学的結果が反映できず、細胞移植治療に対する安全性の検証ができない。臨床的知見を基に、細胞調整段階、あるいは移植直前の細胞を検証することも原因探索研究を行う上で、非常に重要である。

本研究では、細胞培養時、調整時に起きやすいとされる染色体異常(Hotspot)と臨床的有害事例を組み合わせた検査を実施するため、当該年度では染色体解析技術(M-FISH 法、M-BAND 法)を立ち上げ、染色体解析に対する早期解析評価できる技術を確立した。